



# こんにちわ奥さん

with e フィール便り



大丸エナウエン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022  
 大阪市住之江区緑木1-4-39  
 TEL.06(6685)5101  
 〒ダイヤル 0120-093-025

<http://living-poppo-garden.jp/>  
<http://efillwater.jp/>



ぼたもち

はじめに...  
 「こんにちわ奥さん」  
 係から

弥生（やよい）は旧暦3月の呼び名です。弥は「いよいよ」という意味で、いよいよ草木が生い茂る月ということですね。今年春分の日が20日、17日から23日が彼岸の期間です。春の彼岸に供え物として作られるのが「ぼたもち」。米を炊いて軽くつき、餡で包んだ菓子です。秋の彼岸の供え物は「おはぎ」です。「ぼたもち」との違いはあるのでしょうか。

呼び名は、春の彼岸の頃に咲く牡丹、秋の萩に由来すると考えるのが妥当でしょう。日本各地で手作りされていた頃には、様々な作り方や呼び名がありました。今では同じものとしてよいでしょう。同じものを春には「牡丹餅」、秋は「お萩」と呼ぶのです。日本らしくて、いいと思います。

「春眠暁を覚えず」といいます。眠ることは楽なのですが、時に、苦しい思いもします。落語「天狗裁き」のように。この落語、元々は上方落語の演目だったのですが、現在の演出は三代目桂米朝（故人）が発掘、再構成したものです。以下に紹介する粗筋も、これによります。

八五郎が昼寝で、寝言を言っている。面白い夢でも見ているのか、ちょっと起こして聞いてみようかと妻が揺り起こし「お前さん、どんな夢を見ていたんだい」。八五郎は何も思いつき「夢は見えていない」と答えるが、妻は納得せず、隠し事をしていくのだと疑い夫婦喧嘩になってしまう。隣人が仲裁に入るが、経緯を聞いた隣人も夢の内容を知りたがる。夢は見えていないという八五郎の言葉に納得せず、またも喧嘩に。次に長屋の大家が仲裁に入るが、大家もまた夢について知りたがる。弁解するが信じてもらえず「長屋から出て行け」と言われてしまう。八五郎が立ち退きを拒否したため、

## 天狗裁き 怖い夢



奉行所で詮議されることに。最初奉行は八五郎に好意的だったが、やはり八五郎の夢に興味を持ち、聞き出そうとする。夢は見えていないと答える八五郎は奉行の怒りを買ひ、縛り上げられて奉行所の木に吊るされてしまう。途方に暮れていると、突風が吹いて体が宙に浮き、気が付くと山奥にいた。目の前には天狗が。理不尽な目にあっていたら救ったのだと天狗は言う。しかし天狗もまた八五郎の夢のことを聞きたがる。八五郎は同様に弁解するが、信じてもらえない。天狗は怒り出し、八五郎の喉元につかみかかる。首筋に天狗の爪が食い込み、苦しみ悶える。

ふと気が付くと八五郎は家で寝ていて、妻に揺り起こされていた。うなされていたように「お前さん、どんな夢を見ていたんだい」

おいしく炊ける秘密は、**ガス**ならではの「炎」のチカラ。

スタイリッシュなデザインと多彩な炊飯メニュー。

炊きわざ



【業界初】  
 ケーキ機能搭載!

ガスで炊く。  
 だから、おいしい。

商品ラインナップ

ガスの温もりを、かたから。

Paloma



プレミアムレッド×ブラック  
 1升炊き・5合炊き



プレミアムシルバー×アイボリー  
 1升炊き・5合炊き

Engineer's Voice

今までにない洗練された炊飯器を。デザイン面を特に意識し、高級感を演出。表示部には白色LEDを使用することで大きくはっきり見える工夫をし、窯のデザインも一新。今までに無い洗練されたデザインを実現することができました。機能面や使い勝手にも改良を重ね、蒸気口から出る湯気で見た目から美味しさを感じられるような工夫も施しています。重ねてきた炊飯器の開発ノウハウに加え、新たな挑戦が結集した炊飯器です。ぜひ愛用ください!